

TOKAIホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や様々な会社情報を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



<http://tokai.jp>



株式会社TOKAI

(登記社名 株式会社ザ・トーカイ)

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部・名古屋証券取引所市場第一部
証券コード	8134
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 (お問い合わせ)	東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-78-2031
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公 告 方 法	当社のホームページ (http://tokai.jp/ir) に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

本社 〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8 TEL.054-254-8181

会社情報



IR情報



第61期

中間報告書 ~株主の皆様へ~

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

ENERGY & COMMUNICATION



証券コード:8134



株式会社TOKAI

株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第61期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）中間報告書をお届けするにあたり、改めて日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格高騰や米国サブプライム問題の広がりなど、先行き不透明感が強まるなかで、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しが進み、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

当社はグループ企業16社を擁し、液化石油ガス・都市ガスをはじめ情報・通信、住宅、生活関連機器、セキュリティ・保険、並びに婚礼・催事、船舶修繕に至るまで多岐にわたる事業を展開、リテールを主体に静岡県及び関東一円で発展してまいりました。そして、「あしたへの夢、もっと素敵に エネルギー&コミュニケーションのTOKAI」の企業スローガンのもと、お客様とさまざまな生活の局面で密接な関連を持ちながら、より良い商品、サービスの提供に全力を挙げて取り組んでおります。

液化石油ガス事業につきましては、環境に左右されない安定的で安全かつ安価な供給を基本とし、その普及を通じ、お客様から信頼され愛され続けるエネルギーとしてご満足いただけるよう一層の事業推進に努めております。

情報通信事業につきましては、ADSLインターネット、FTTHインターネット、CATVインターネット、CATV-FTTHインターネット等の固定通信サービス並びにモバイル通信サービスとCATV放送サービス及びソフト開発、情報処理等の情報サービスを機能的に関連づけながら展開していき、中期的に当企業集団のガス事業と並ぶ柱に育てていく方針であります。

住宅関連事業（設備・建築・不動産）につきましては、商品の提案力、施工技術力の強化を図り、お客様の暮らしのニーズに即応した事業展開を強力に推進しております。

当中間期の企業集団の業績につきましては、売上高708億55百万円（前

中間期比4.2%増）、営業利益7億25百万円（前中間期比27.1%減）となりましたが、LPガス原料価格高騰に対応するためのコモディティ・スワップ取引に係る先物運用益等により、営業外損益が前中間期比8億円改善した結果、経常損失が前中間期比5億33百万円損失減の6億88百万円となりました。特別損益においては固定資産除却損が減少しましたが、会計処理方法の変更に伴ない過年度発生分の役員退職慰労引当金を計上、法人税等調整額の負担増加もあって、中間純損失は25億4百万円（前中間期比6億22百万円損失増）となりました。

通期の業績予想につきましては、売上高1,648億円（前期比6.4%増）、経常利益51億90百万円（前期比8.9%増）となりますが、前期に計上しました静岡県再開費補償金や関係会社株式売却益を当期は見込んでいないこと、税負担及び法人税等調整額の負担が増加すること等により、当期純利益は2億10百万円（前期比93.9%減）となる見通しであります。

当社グループは、長期にわたり安定した経営基盤の確保と財務体質の強化に努めるとともに、利益の配分については、業績や経済情勢を勘案し、株主の皆様へ安定した利益還元をすることを政策の基本としております。

株主の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月



代表取締役会長(CEO)
藤原 明



代表取締役社長(COO)
鵜田 勝彦

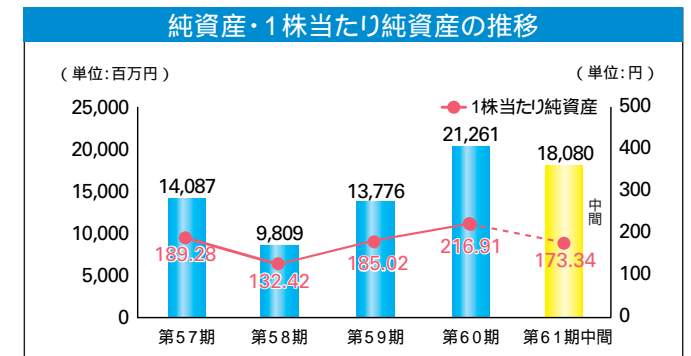
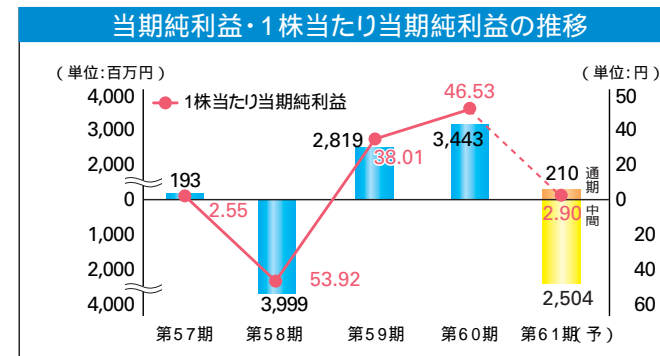
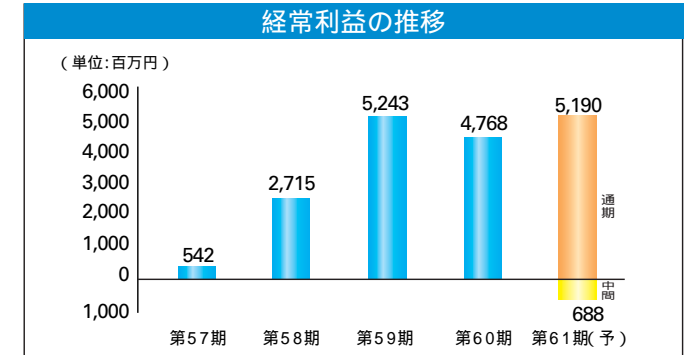
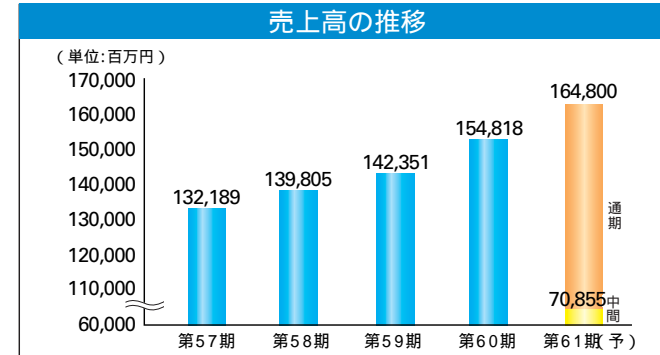
CONTENTS

株主の皆様へ	1	TOKAIグループの営業概況	5
連結財務ハイライト	2	TOKAIグループ・トピックス	7
中間連結財務諸表の要旨	3	株式の状況	9
中間個別財務諸表の要旨・業績予想・配当金・株主優待	4	会社の概要・事業所一覧	10

連結財務ハイライト

(単位：1株データを除き百万円)

	第57期 (平成16年3月)	第58期 (平成17年3月)	第59期 (平成18年3月)	第60期 (平成19年3月)	第61期中間期 (平成19年9月)	第61期予想 (平成20年3月)
売上高	132,189	139,805	142,351	154,818	70,855	164,800
経常利益	542	2,715	5,243	4,768	688	5,190
当期(中間)純利益	193	3,999	2,819	3,443	2,504	210
純資産	14,087	9,809	13,776	21,261	18,080	
総資産	164,944	157,521	155,131	160,497	155,206	
1株当たり当期(中間)純利益	2.55円	53.92円	38.01円	46.53円	34.37円	2.90円
1株当たり純資産	189.28円	132.42円	185.02円	216.91円	173.34円	
1株当たり配当金	6.00円	5.00円	7.00円	8.00円	4.00円	8.00円



中間連結財務諸表の要旨

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 9月30日現在	平成18年 9月30日現在
(資産の部)			
流動資産		53,203	57,315
現金及び預金		6,887	9,353
受取手形及び売掛金		18,500	16,575
有価証券		3,560	4,663
たな卸資産		11,666	13,520
その他		12,880	13,471
貸倒引当金		291	268
固定資産		101,357	96,275
有形固定資産		77,430	73,637
建物及び構築物		28,053	25,629
機械装置及び運搬具		26,588	25,654
土地		18,092	19,361
その他		4,695	2,991
無形固定資産		7,084	6,526
投資その他の資産		16,842	16,111
投資有価証券		5,096	6,001
その他		12,482	10,978
貸倒引当金		736	868
繰延資産		645	1,294
資産合計		155,206	154,886

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 9月30日現在	平成18年 9月30日現在
(負債の部)			
流動負債		83,194	84,392
支払手形及び買掛金		9,716	10,475
短期借入金		58,837	60,891
一年以内償還予定の社債		680	500
未払法人税等		258	184
賞与引当金		1,216	1,078
その他		12,486	11,262
固定負債		53,931	54,880
社債		11,914	10,784
長期借入金		36,397	39,259
ガス熱量変更引当金		818	1,147
退職給付引当金		868	1,098
役員退職慰労引当金		1,125	
その他の引当金		48	75
その他		2,758	2,515
負債合計		137,126	139,273
(純資産の部)			
株主資本		12,230	10,835
資本金		14,004	14,004
資本剰余金		8,516	8,813
利益剰余金		8,451	10,980
自己株式		1,838	1,002
評価・換算差額等		330	658
その他有価証券評価差額金		330	635
繰延ヘッジ損益			22
少数株主持分		5,519	4,119
純資産合計		18,080	15,613
負債及び純資産合計		155,206	154,886

中間連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 4月1日から 9月30日まで	平成18年 4月1日から 9月30日まで
売上高		70,855	67,980
売上原価		47,269	45,050
売上総利益		23,585	22,929
販売費及び一般管理費		22,860	21,935
営業利益		725	994
営業外収益		1,169	640
営業外費用		2,583	2,856
経常損失		688	1,221
特別利益		192	402
特別損失		1,741	2,008
税金等調整前中間純損失		2,237	2,826
法人税、住民税及び事業税		132	80
法人税等調整額		178	1,621
少数株主利益		313	595
中間純損失		2,504	1,882

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 4月1日から 9月30日まで	平成18年 4月1日から 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,624	5,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		8,643	5,781
財務活動によるキャッシュ・フロー		822	2,783
現金及び現金同等物の増減額		2,840	2,865
現金及び現金同等物の期首残高		9,380	6,124
現金及び現金同等物の中間期末残高		6,540	8,996

中間連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当中間連結会計期間 (平成19年4月1日から9月30日まで)	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	14,004	8,516	5,655	1,642	15,223	539		597	5,441	21,261
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			291		291					291
中間純損失			2,504		2,504					2,504
自己株式の取得				197	197					197
自己株式の処分										
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						208	57	266	77	188
中間連結会計期間中の変動額合計			2,796	196	2,992	208	57	266	77	3,181
平成19年9月30日残高	14,004	8,516	8,451	1,838	12,230	330		330	5,519	18,080

中間個別財務諸表の要旨

中間貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 9月30日現在	平成18年 9月30日現在
(資産の部)			
流動資産		42,416	44,279
固定資産		79,117	77,489
有形固定資産		47,469	46,603
無形固定資産		4,421	3,864
投資その他の資産		27,225	27,020
繰延資産		67	60
資産合計		121,601	121,828
(負債の部)			
流動負債		57,735	57,481
固定負債		43,726	43,804
負債合計		101,462	101,285
(純資産の部)			
株主資本		19,886	20,063
資本金		14,004	14,004
資本剰余金		8,516	8,813
利益剰余金		796	1,752
自己株式		1,838	1,002
評価・換算差額等		252	479
純資産合計		20,139	20,543
負債及び純資産合計		121,601	121,828

20年3月期業績予想・配当金

当期連結業績予想		
売上高	164,800百万円	(対前期比 6.4%増)
経常利益	5,190百万円	(対前期比 8.9%増)
当期純利益	210百万円	(対前期比 93.9%減)

配当金	
1株当たりの年間配当金につきましては、19年9月	
中間期に4円00銭、20年3月期末に4円00銭の合計8	
円を予定しております。	

中間損益計算書 (単位: 百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期
		平成19年 4月1日から 9月30日まで	平成18年 4月1日から 9月30日まで
売上高		50,679	49,633
売上原価		34,959	34,387
売上総利益		15,720	15,245
販売費及び一般管理費		16,621	16,032
営業損失		901	787
営業外収益		1,393	809
営業外費用		2,018	2,245
経常損失		1,526	2,223
特別利益		28	153
特別損失		1,200	1,966
税引前中間純損失		2,698	4,035
法人税、住民税及び事業税		26	26
法人税等調整額		1,114	1,626
中間純損失		1,610	2,436

当期個別業績予想		
売上高	120,400百万円	(対前期比 7.6%増)
経常利益	1,840百万円	(対前期比 128.6%増)
当期純利益	560百万円	(対前期比 32.7%増)

株主優待のご案内

株主優待証をご提示いただきますと、次の割引が受けられます。

優待項目 1. ガス機器・住宅設備機器

1千株以上.....市価の15%割引
3千株以上.....市価の20%割引
有効期間内限度 ...1回につき割引額30万円
摘要 コンロ、炊飯器、湯沸器、暖房器、給湯器エアコン、システムキッチンなど

優待項目 2. ホームセキュリティ工事

1千株以上.....標準工事価格の15%割引
3千株以上.....標準工事価格の15%割引

優待項目 3. ADSL

1千株以上 新規加入時の月額利用料金につき最大3ヶ月無料

優待項目 4. ソフトバンク携帯電話

1千株以上 当社グループにて新規並びにMNPで契約頂いた方について、契約事務手数料相当額(3,000円の郵便小為替)をキャッシュバック

優待項目 5. ブケ東海婚礼

1千株以上.....精算価格の5%割引
3千株以上.....精算価格の10%割引
有効期間内限度 ...1回につき割引額15万円
摘要 ブケ東海沼津、ブケ東海三島、クレーションM(御殿場)

優待項目 6. 中島屋ホテルチェーン婚礼

1千株以上 飲食代の10%割引

優待項目 7. ホテルブケ東海

1千株以上 宿泊料割引
金・土・日・祝日 20%割引
平日 10%割引
摘要 浜松市中区砂山町
利用可能期間:平成19年12月31日まで

優待項目 8. ブケ東海

1千株以上 催物 15%割引
摘要 割引券12枚

優待項目 9. 中島屋ホテルチェーン

1千株以上 レストラン 20%割引
摘要 割引券12枚

TOKAIグループの営業概況

ガス及び石油



- 液化石油ガス・石油
(株)TOKAI
東海ガス(株)
東海造船運輸(株)
常陽ガス(株)
(有)すずき商会
- 都市ガス
東海ガス(株)
- 高圧ガス
(株)TOKAI
常陽ガス(株)
- セキュリティ
(株)TOKAI
モバイル・セキュリティ・トーカー(株)
(株)システム東名

液化石油ガス事業につきましては、記録的な猛暑による家庭用単位消費量減少等の影響を受け、LPGガスの販売量が減少したものの、需要件数の増加に加え、高値で推移した仕入価格の転嫁等もあり、売上高が前年中間期を上回りました。

都市ガス事業につきましては、大口需要家の新規開拓による販売量増加により、売上高も増加しました。

これらにより、当部門の売上高は、410億43百万円(前年中間期比2.9%増)となりました。

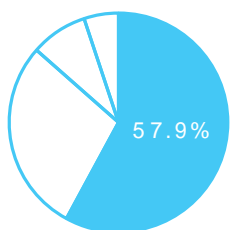
通期売上高は、943億円(前期比7.8%増)を見込んでおります。

当社の液化石油ガス用途別販売数量 (単位:トン)

	平成19年度 見通し	平成18年度 実績	増減	%
家庭業務用	224,350	218,816	5,534	2.5
工業用	140,965	137,473	3,492	2.5
自動車用	6,146	5,921	225	3.8
小計	371,461	362,210	9,251	2.6
その他	17,617	19,677	2,060	10.5
合計	389,078	381,887	7,191	1.9

(注)用途別の「その他」は卸売業者等への販売であります。

部門別売上高構成比



建築及び不動産



- 建築・不動産
(株)TOKAI
島田リゾート(株)

国土交通省によると、わが国の平成19年4月～9月の新設住宅着工総戸数は、改正建築基準法施行(6月20日)の影響もあって、7月以降の総着工数が3ヶ月連続の前年割れとなるなど、前年中間期比19.7%の減少となりました。

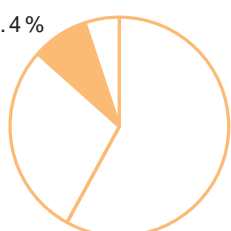
当企業集団の主な営業エリアである静岡県においては、平成19年4月～9月の新設住宅着工総戸数が前年中間期比1.4%増となりましたが、8、9月の総着工数が大幅に前年同月を下回りました。

このような状況下において、「島田・ばらの丘ニュータウン」の分譲宅地販売が件数・売上高共に前年中間期を下回り、前年中間期にあった大

型設備工事物件やマンション販売が無かったこと等から、当部門の売上高は、59億14百万円(前年中間期比14.5%減)となりました。

通期売上高は、169億円(前期比7.4%減)を見込んでおります。

部門別売上高構成比



情報及び通信サービス



- 情報通信サービス
(株)TOKAI
(株)ビック東海
(株)いちばらコミュニティー・ネットワーク・テレビ
厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株)
熊谷ケーブルテレビ(株)
(株)イースト・コミュニケーションズ
(株)御殿場ケーブルメディア
東海ガス(株)
モバイル・セキュリティ・トーカー(株)

ADSL・FTTHインターネット事業につきましては、市場ニーズに沿ったサービスメニューや付帯サービスの充実を図って新規顧客の獲得を進めるとともに、ADSLから当企業集団がISPを行うFTTHへの移行に取り組むなど中止防止に努めた結果、顧客件数が前年中間期比1万4千件増加して47万1千件となりました。

CATV事業につきましても、放送及び通信(CATV-FTTH含む)の顧客件数合計が前年中間期比2万9千件増加して39万8千件となりました。

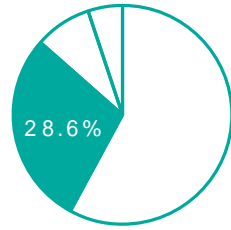
情報処理事業につきましては、前連結会計年度に引続き、企業のICT(情報通信技術:Information and Communication Technology)関連投資の増加を背景に、システム開発案件が増加し、情報処理・運用事業も自社ネットワークの拡張や積極的な営業

活動により、データセンターの稼働率が向上しました。

これらに加え、モバイル事業の売上高が寄与したことにより、当部門の売上高は、202億71百万円(前年中間期比12.6%増)となりました。

通期売上高は、441億円(前期比9.6%増)を見込んでおります。

部門別売上高構成比



その他



- 婚礼催事ホテル
(株)ブケ東海
(株)和栄
(株)トーカーメモリアルサービス
- 船舶修繕
東海造船運輸(株)
- その他サービス
(株)TOKAI
東海ガス(株)
(株)ブケ東海

バルブ事業につきましては、プラント市場が世界的に活況を呈しており、これに伴うプラント専業大手からの受注が好調に推移し、主力商品である高温・高圧弁、一般弁共に販売量が増加し、売上高が増加しました。

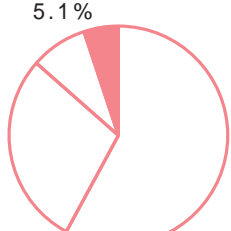
船舶修繕事業につきましては、鮪船の修繕工事を中心に工事量が増加し、また、プラント工事の増加や中古船の売却が発生したこと等により、売上高が増加しました。

婚礼・催事事業につきましては、既存店舗における婚礼施行組数の減少や静岡駅前紺屋町地区再開発事業に伴う拠点の減少等により、売上高が減少しました。

これらにより当部門の売上高は、36億25百万円(前年中間期比14.0%増)となりました。

通期売上高は、95億円(前期比7.3%増)を見込んでおります。

部門別売上高構成比



あしたへの夢、もっと素敵に エネルギー&コミュニケーションのTOKAI

当社は、創業以来多角的に事業を展開し、現在ではグループ企業16社を擁し、液化石油ガス・都市ガスをはじめ、情報・通信、住宅、生活関連機器、セキュリティ・保険、並びに婚礼・催事、船舶修繕にいたるまで、業容を拡大し、リテールを主体に静岡県および関東一円で発展してまいりました。

「あしたへの夢、もっと素敵に エネルギー&コミュニケーションのTOKAI」の企業スローガンのもと、より良い商品、サービスの提供に、全社一丸となって業務に取り組んでおります。21世紀を迎え、TOKAIグループ各社は「暮らしを創造し、ハイテク化に挑戦する専門的パートナー集団」として皆様の豊かな暮らしにお役に立てる企業であり続けたいと考えております。



トピックス

通信事業の一部譲渡

当社は、平成20年4月1日を目処に当社が営む通信事業の一部を、当社連結子会社である(株)ビック東海(JASDAQ・証券コード2306)に譲渡することとしました。

(株)ビック東海は、コンシューマー向けISPやキャリアサービスなどのコミュニケーションサービス事業、CATV事業、情報処理やシステムインテグレーションなどのシステムインノベーションサービス事業を事業の3本柱として展開し、当社グループが行う情報通信事業の中核を担っております。

今回の事業譲渡により、(株)ビック東海への通信事業集約を進め、グループ経営の効率を高めていきます。

譲渡の対象となる事業は、現在、当社が行っているデータ伝送事業並びに同じく当社が行っているホールセール(ISP事業者への回線卸売)事業を予定しております。

これに伴い、当社が保有する中継局舎内の伝送装置や、当社がNTT局舎内に設置したホールセールに係る機器等についても同社に譲渡する予定です。

今後、譲渡対象資産を含めた事業価値に関する第三者評価などを鑑み、両社協議の上譲渡価額を確定し、また、総務省やNTTなど関係先との協議を進めて円滑に事業譲渡を行い、グループの発展につなげていきます。

TOKAIグループ情報通信各社の役割(現状)

		静岡	関東
光ファイバー 幹線投資	幹線	ビック東海	TOKAI
	伝送装置	ビック東海	TOKAI
インターネット上位接続		ビック東海	
ホールセール		ビック東海	TOKAI
ISP		TOKAI	ビック東海
CATV放送		ビック東海	
CATVインターネット		ビック東海	



TOKAIグループ情報通信各社の役割(事業譲渡後)

		静岡	関東
光ファイバー 幹線投資	幹線	ビック東海	TOKAI
	伝送装置	ビック東海	
インターネット上位接続		ビック東海	
ホールセール		ビック東海	
ISP		TOKAI	ビック東海
CATV放送		ビック東海	
CATVインターネット		ビック東海	

アクア事業の開始

当社グループは平成19年11月から静岡県内において水の宅配事業を開始しました。配達スタッフがウォーターボトルをご家庭やオフィスまでお届けし、専用のウォーターサーバーを利用して冷水と温水をいつでも楽しむことができます。

事業のコンセプトは、“エネルギー関連の一環として、富士山・北アルプスのおいしい湧水をたくさんのお客様にお届けする”ことです。北アルプスに水源を持つ限りなく純水に近いまろやかな軟水を自社ブランドの『ピュア純水』としてOEM供給を受けて販売します。

また、平成20年1月からはバナジウムを含んだ天然水『朝霧のしずく』を、OEM供給を受けて販売する予定です。さらに、平成20年4月からは自社で製造・販売していく計画です。

当社グループが培ってきた小口物流のノウハウと顧客基盤を活用して、直売事業の一環として推進し、収益の拡充を図っていきます。

よくあるご質問 | お問い合わせ | サイトマップ TOKAI

おいしい水の宅配便

今すぐお申し込み

お電話でのお申し込みは
☎ 0120-979-113
受付時間：9:00～18:00

商品・サービス

- バナジウムたっぷり「朝霧のしずく」
- やさしく、おいしい「ピュア純水」
- うれしい水の宅配サービス
- 快適な便利なウォーターサーバー
- こんな場面での水の宅配

水を知る

- ・軟水と硬水
- ・水と健康
- ・水と美容
- ・水と料理

お申し込み

- ・お申し込みの流れ
- ・配達エリア
- ・お申し込みフォーム

安心でおいしい水を、宅配でお届けします。

24リットル
(12リットル×2本)
無料

初回お申し込み特典
今なら初回お申し込み時に限り
24リットル(ボトル2本分)無料

朝霧のしずく

12リットル
1本 **1,300円**

ピュア純水

12リットル
1本 **995円**

サーバーレンタル料
1台 **800円/月**

ホームページアドレス <http://aqua.tokai.jp>

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

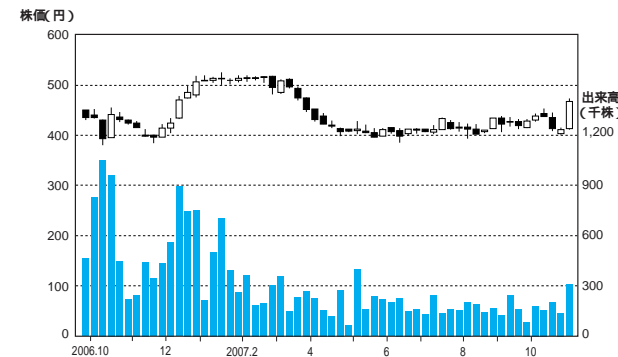
会社が発行する株式の総数	200,000,000株
発行済株式総数	75,750,394株
株主数	6,149名 (前期末比 57名減)
1単元の株式数	1,000株

大株主

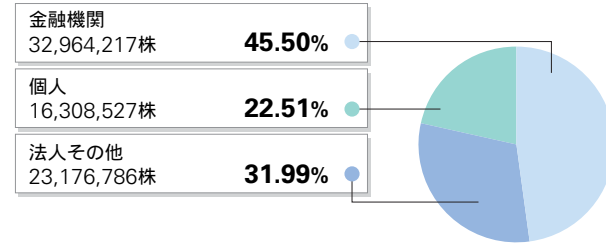
株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	出資比率 (%)
あいおい損害保険株式会社	7,110	9.39
鈴与商事株式会社	4,301	5.68
東京海上日動火災保険株式会社	4,296	5.67
株式会社みずほ銀行	3,416	4.51
株式会社静岡銀行	3,318	4.38
中央三井信託銀行株式会社	3,241	4.28
明治安田生命保険相互会社	2,686	3.55
アストモスエネルギー株式会社	2,269	3.00
日本生命保険相互会社	1,751	2.31
矢崎総業株式会社	1,555	2.05

自己名義株式3,284,864株を除きます。

株価チャート

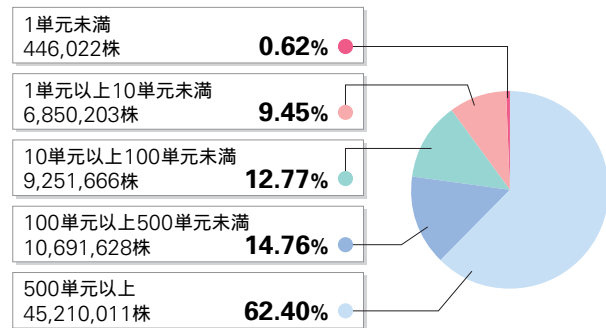


所有者別株式分布状況



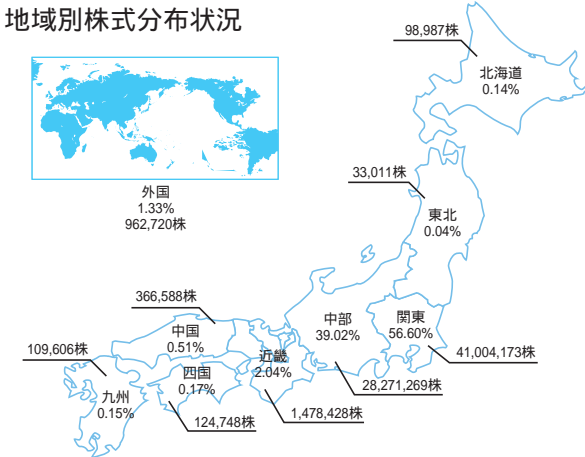
自己名義株式3,284,864株と証券保管振替機構名義の失念株式16,000株は、所有株式数別株式分布状況から除かれております。

所有株式数別株式分布状況



自己名義株式3,284,864株と証券保管振替機構名義の失念株式16,000株は、所有株式数別株式分布状況から除かれております。

地域別株式分布状況



自己名義株式3,284,864株と証券保管振替機構名義の失念株式16,000株は、地域別株式分布状況から除かれております。

会社の概要 (平成19年9月30日現在)

商号	株式会社TOKAI
登記社名	株式会社ザ・トーカイ
創業	昭和25年12月23日
資本金	140億462万円
従業員	単体1,842名 連結3,453名
事業内容	エネルギー事業(液化石油ガス、高圧ガス、石油製品) 情報通信事業(インターネット、モバイル) 住宅建築事業(住宅、設備機器、設備工事、建築、不動産) セキュリティ事業、保険事業(生保、損保) バルブ事業 他

主要取引銀行	株式会社静岡銀行、中央三井信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社清水銀行
--------	--

役員	代表取締役会長(CEO) 藤原 明彦 代表取締役社長(COO) 田勝 彦 代表取締役東京本社代表 横田 義 専務取締役 藪崎 正憲 専務取締役 山口 憲祐 専務取締役 村田 孝文 常務取締役 高橋 信吾 常務取締役 真室 孝教 常務取締役 小林 弘樹 常務取締役 西野 直樹 常務取締役 米村 敬之 取締役 河口 俊一 取締役 服部 芳彦 取締役 水野 幸弘 取締役 渡邊 一明 取締役 櫻井 末廣 取締役 植松 司 取締役 八木 実美 取締役 早川 邦己 取締役 西郷 正男 取締役 神谷 聡一郎 常勤監査役 森 千之 監査役 湯木 興郎 監査役 酒井 公夫 監査役 瀨下 明
----	---

事業所一覧 (平成19年9月30日現在)

本社	静岡県葵区常磐町2丁目6番地の8
東京支店	東京都千代田区岩本町2の14の2
北海道支店	静岡県熱海市上多賀598の3
津支店	静岡県沼津市新沢町2の21
三島支店	静岡県三島市梅名315の1
御殿場支店	静岡県御殿場市新橋249の1
富士支店	静岡県富士市中島74の1
富士宮支店	静岡県富士市万野原新田3551の1
清水支店	静岡市清水区袖町816の1
静岡支店	静岡市駿河区宮竹1の2の8
焼津支店	静岡県焼津市五ヶ堀之内363の1
榛原支店	静岡県榛原郡吉田町住吉1170の1
中遠支店	静岡県磐田市岩井1907の264
浜松支店	静岡県浜松市東区宮竹町506の1
北支店	静岡県浜松市浜北区高畑311
多摩支店	東京都武蔵村山市伊奈平2の92の2
横浜支店	横浜市戸塚区上矢部町2091
厚木支店	神奈川県厚木市酒井2138の2
相模原支店	神奈川県相模原市下九沢1676の2
湘南支店	神奈川県横須賀市内川1の8の10
大宮支店	さいたま市見沼区深作2の4の3
熊谷支店	埼玉県熊谷市三ヶ尻3805の1
川越支店	埼玉県川越市芳野台1の103の21
川口支店	埼玉県川口市戸塚1の5の3
所沢支店	埼玉県所沢市中富1500の13
和光支店	埼玉県和光市下新倉2の30の20
千葉支店	千葉県四街道市大日530の11
松戸支店	千葉県松戸市根木内77
木更津支店	千葉県木更津市椿字石田671
君津支店	千葉県君津市人見1014の1
市原支店	千葉県市原市五井南海岸44の1
旭支店	千葉県旭市三川1977の1
大原支店	千葉県いすみ市山田1185
高崎支店	群馬県佐波郡玉村町南玉835
茨城支店	茨城県小美玉市柴高735
土浦支店	茨城県土浦市虫掛3719の1
日立支店	茨城県那珂市向山字笠松1263の1
宇都宮支店	栃木県宇都宮市川田町1080
小山支店	栃木県小山市粟宮1155の1
那須支店	栃木県那須塩原市上中野字東通り489の1
福島支店	福島県二本松市向作田46の1
郡山支店	福島県郡山市安積4の114
バルブ事業部	静岡県庵原郡富士川町中之郷1450
コールセンター	静岡県葵区常磐町2丁目6番地の8
大井川港基地	静岡県志太郡大井川町利右衛門2727の2